

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
令和6年度第16回理事会報告

○日 時：令和7年3月26日(木) 19:00—21:50

○場 所：Zoomによる会議

○出席者：蛭田会長、古賀・吉田各副会長、小野寺専務理事、赤尾事務局長、野村
(19:30 から参加)・町田常務理事、小高・小田部・栗田・佐藤・島田・中
島・中橋 (19:50 から離席)・西谷・畑中・樋口 (21:00 から参加)・望月・
安井各理事 以上19名
古屋監事 以上1名

○欠 席：杉本・平田・西谷・前田各理事 以上4名
佐久間監事 以上1名

1. 開 会

2. 蛭田会長からの挨拶

予算については、厳しい状況ですが、皆さんの賛同を得られるようにまとめたい
と思います。ご協力お願いします。

3. 会議成立状況報告

理事数 開始時23名中17名出席(定款第33条、定足数=12名(1/2超))
監事数 1名出席

4. 議長選出

蛭田会長が議長を務める。(定款第32条)

5. 議事録署名人

会長及び監事(定款第34条)

6. 議 題 (注. 審議順に記載)

議案第1号 令和7年度取り組み及び予算の承認について

前回の3月24日の臨時理事会に出された令和7年度予算案の内、
経費削減案(雑費、大会の削減等)について、町田SC部長が関係者から
聞いた実現可能性や、影響について状況の説明をした。

その後、業務委託に関わる現状や、資金状況とその確保案、SC競技
の科目ごとの実態(スタッフ謝金、大会設置費用等)の情報開示の必
要性の意見がでた。

SC 競技の費用実態を理事内で共有するために、BJC/LJC の 2023 年、2024 年の収支実績、2025 年の想定予算を提示し、理事に展開することになった。提出方法、時期等については持ち帰って確認することになった（町田 SC 部長）。

3 月 24 日に行われた臨時理事会で、小野寺専務理事が令和 7 年度取り組み及び事業内容を説明したが、その後、変更依頼は来ていないので、その内容でよいかどうか採決をとり、以下のように異議なく承認された。

反対 0 名、棄権 0 名、賛成 17 名

令和 7 年度予算案については、3 月 24 日提示された予算原案の総額数値で提出することについて採決を取り、以下のように承認された。

反対 0 名、棄権 1 名（濱田理事）、賛成 16 人

一方で、SC 部内で次の 2 案の費用削減案が出ている。

a ユースボルダーの大会にフューチャーのカテゴリーを組み込む

b. 地方岳連主管の大会でフューチャーリードを行う等

上記のさらなる検討を進めることについて、賛否を取り、異議なく承認された。

反対 0 名、棄権 0 名、賛成 17 名

SC 強化の派遣大会（シャモニー、インスブルック）ごと、2023 年、2024 年収支実績、科目詳細の情報を、既存情報で理事に提供することになった。ただし、当情報は機密情報であるので、取り扱い要注意であることを補足した（赤尾事務局長）。

議案第 2 号（追加）業務委託契約の更新について

業務委託契約の 2 名から提出された業務報告について

赤尾事務局長が、両名から報告された業務報告（3 月 24 日に配布済）を画面で紹介した。

その後以下の補足説明や、意見が出された。

- * ガバナンス委員会からは、“業務報告”をベースに、理事会で更新の可否判断をしてほしいということだった。
- * 大会の結果報告を作成、理事会に展開、説明することを報告項目とし追加してほしい。
- * 委託業務契約で、委託する仕事の内容、評価、それに対する指示命令等は、主管理事、担当理事が実施、管理する。

- * 契約、更新期間、金額等の契約内容の商業部分は、会長、専務理事が担当、交渉する。協議は、3月中にできるだけ早く申し入れする。

今後、2名とも契約更新を前提に、上記を行うことについて、採決を取り、異議なく承認された。

反対 0名、棄権 0名、賛成 18名

その他

1. 古屋監事が、現状の運営状況（今期の決算と同様な内容の来期の予算策定、及び期末決済資金の支払条件・方法）では、来期末（令和8年3月末）に、運営資金について懸念が残る。それを回避する具体策を策定するために工程表を作成し、計画的に議論し、実行する必要があるとの発言があった。
その結果、具体的には、先ず3役で、現契約内容、SC大会費用の削減、組織のあり方を含めた課題について、協議、策定することになった。
2. 捺印済み理事会議事録を遅くとも3月31日（月）に入手し、内閣府へ提出しなければならないので、理事会議事録の早期完成に、理事の皆さんのご協力をお願いしたい。

令和7年3月26日

記録 赤尾 浩一

以 上